

参加者の有無を確認する公募手続きに係る参加意思確認書の提出を求める公示

令和4年8月22日

木曾川上流河川事務所長

板垣 修

次のとおり、参加意思確認書の提出を招請します。

1. 当該招請の主旨

本件は、中部地方整備局木曾川上流河川事務所の既設の新堀川排水機場ポンプ設備（以下「当該設備」という）の修繕工事に関する公示である。

対象となる修繕工事は、既設設備の機能・性能に影響を及ぼすものであり、修繕により当該設備内の他の部分への影響や一部設備更新による接続要件のすり合わせなどの検討や対策を含むものである。

既設設備は、当事務所の工事目的を達成するために必要な「機能・性能」を定めた仕様書等により、当初受注者が独自に開発・設計・製作・据付したもので、製作段階で当初受注者固有の構造・形状となっており、装置形状や構成品が独自の製品を含み、接続条件や動作条件が独自の要件となって一体化された設備である。

よって、本修繕工事は、当該設備の当初受注者を契約の相手方（以下、「特定予定者」という）とし契約手続きを行う予定としているが、特定予定者以外の者で以下の応募要件を満たし、当該設備の修繕工事の契約を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書を招請する公募を実施するものである。

なお、3. の応募要件を満たすと認められる者（以下、「応募認定者」という。）がいる場合にあつては、一般競争入札（技術提案評価型S型等）にて調達を実施するものとする。

また、必要により参加意思確認書の内容確認ヒアリングを実施する場合がある。

2. 工事概要

- (1) 工事件名 令和4年度 新堀川排水機場ポンプ設備修繕工事
- (2) 工事内容 既設の新堀川排水機場ポンプ設備にかかる修繕工事を行うこと。
なお、詳細は「工事説明書」を参照のこと。
- (3) 対象設備 別紙1「対象設備一覧表」参照。

3. 応募要件

参加意思確認書の提出者に付す応募要件は次のとおりとする。

(1) 基本的要件

- ① 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- ② 中部地方整備局（港湾空港関係を除く。）の令和3・4年度一般競争（指名競争）入札参

加資格業者のうち機械設備工事に認定されている者であること。

- ③ 会社更生法に基づき、更正手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（競争参加資格に関する公示に基づき②の競争参加資格を継続する為に必要な手続きを行った者を除く。）でないこと。
- ④ 中部地方整備局長から指名停止を受けている期間中でないこと。
- ⑤ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- ⑥ 建設業法に基づく本店、支店又は営業所が中部地方整備局管内に所在すること。

(2) 実績に関する要件

平成19年度以降に元請けとして、引渡が完了した当該設備と同種の設備を新設、改造、更新、又は修繕した工事实績を有すること（詳細は「工事説明書」参照）。

(3) 配置予定技術者について

次に掲げる基準を満たす監理技術者又は主任技術者を当該工事に専任で配置できること。

- ① 監理技術者又は主任技術者を配置する場合は、技術士（機械部門又は総合技術監理部門（選択科目を機械部門に係るものに限る。））又はこれと同等以上の資格を有する者であること。
- ② 主任技術者を配置する場合は、下記に示す資格を有する者であること。
・「建設業法第7条第2号イ、ロ又はハ」に示す資格を有する者。（建設業法施行規則第7条の三及び国土交通省告示第1424号（平成17年12月16日）参照）
- ③ 上記(2)に掲げる工事（平成19年度以降の実績でなくても良い）の経験を有する者であること（品質証明員、土木工物品質確認技術者としての経験は除く。）。ただし、発注者から企業に対して通知された評定点が65点以上の実績に限る。（工事評定が実施されていない実績や評定点が企業に通知されていない実績にあつては、検査に合格したことを証明する書類又は引渡し完了したことを証明する書類をもって65点と見なす。）
- ④ 配置予定技術者と直接的かつ恒常的な雇用関係（3ヶ月以上）があること。なお、雇用期間が限定されている継続雇用制度（再雇用制度、勤務延長制度）の適用を受けている者については、その雇用期間にかかわらず、恒常的な雇用関係にあるとみなす。
- ⑤ 工事を受注した場合において、監理技術者が必要となる工事にあつては、配置予定技術者が監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
- ⑥ 工程上一定の区切りと認められる時点は、受注者自らが工場製作を行う工事であつて、現地から工場へ工事現場が移行する時点及び工場から現地へ工事現場が移行する時点とする。
- ⑦ 配置予定技術者は、現地での工事現場の技術者とする。配置予定技術者は、現地での工事現場の期間に専任で配置できる者であること。なお、工事現場が移行する時点で、配置予定技術者を交代させても良い。
- ⑧ 技術者は、次に掲げる期間については工事現場への専任は要しない。ただし、工場製作のみが行われている期間でも、足場等の仮設設備や現場事務所の管理等、現場管理が必要となる場合は、技術者の専任を要するものとする。

- a. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間。）
 - b. 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
 - c. 機械設備の工場製作を含む工事全般について、工場製作のみが行われている期間
 - d. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間
- ⑨ 技術者の途中交代にあたっては、交代前後における監理技術者等の技術力が同等以上に確保されること、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に配置するなどの措置をとること、工事の継続性、品質確保等に支障が無いこととする。

(4) 技術力に関する要件

- ① 本修繕工事の主ポンプ設備における交換部品の納入体制を有すること。
- ② 主ポンプ分解整備後の実負荷による性能試験を実施する試験場の体制とその試験場で当該主ポンプと同種同規模の性能試験の実績を有すること。
（なお、ここでの同種同規模とは、立軸斜流ポンプで1台あたりの吐出量が毎秒5.0m³以上であること。）
- ③ 本修繕工事に係る主ポンプ設備全般の検査・試験等に関する自らの体制を有すること。
- ④ 本修繕工事完成後のアフターケア体制を有すること。

4. 手続等

(1) 担当部局

①契約関係

〒500-8801 岐阜県岐阜市忠節町5丁目1番地

木曾川上流河川事務所 経理課

電話：058-251-1322, 電子メール：cbr-keijyory@mlit.go.jp

②技術関係

〒500-8801 岐阜県岐阜市忠節町5丁目1番地

木曾川上流河川事務所 管理課

電話：058-251-1325, 電子メール：cbr-kisojyo-kanri@mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

交付期間：令和4年8月22日(月)から令和4年8月31日(水)まで

(土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日8時30分から17時00分まで)

交付場所等：上記(1)②に同じ

(3) 参加意思確認書の提出期限、場所及び方法

提出期限：令和4年9月1日(木) 16時00分。

提出場所等：上記(1)②に同じ。

持参、郵送（書留郵便等記録が残るもの）、または電子メール（着信を確認すること）。

(4) 質問の受付期限、場所及び方法

受付期限 : 令和4年8月29日(月) 16時00分

受付場所等 : 上記(1)②に同じ。

持参、郵送(書留郵便等記録が残るもの)、または電子メール(着信を確認すること)。

(5) 質問の回答日、場所及び方法

回答日 : 令和4年8月30日(火)、31日(水)

回答方法等 : 上記(1)②において回覧に付する。

(6) 参加意思確認書の内容確認ヒアリングの実施連絡

実施する場合の連絡日 : 令和4年9月1日(木)

(7) 審査結果通知予定日

通知予定日 : 令和4年9月7日(水)

通知方法等 : 電子メールによる。

5. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 関連情報を入手するための照会窓口 4. (1)①に同じ。

(3) 詳細は「工事説明書」による。

以上

別紙 1

対象設備一覧表

(新堀川排水機場)

NO	設備名称		規格等	備考	
1	主ポンプ 設備	主ポンプ	立軸斜流ポンプ		
2	主ポンプ 設備	主原動機	内燃機関 ディーゼル機関		
3	監視操作 制御設備	機側操作盤	主ポンプ用	屋内自立型	
		入出力中継盤		屋内自立型	
		運転支援装置			